

ゴールド工業 株式会社

企画開発力を軸に多様な プラスチック製品を提案

海外発注可
納期相談
企画力自信有
コスト相談
オンライン技術
メイドイン
ジャパン
量産対応



企画・提案力で業界をけん引する

「キャリアアール」の 業界標準化に貢献

自動実装用の半導体や電子部品が挿入されたキャリアアールを巻き取る「キャリアアール」の製造・販売を手がけるエレクトロニクス事業が主力。そのほかベアスト容器などを企画開発するプラスチック製容器事業、教材やノベルティなどプラスチック製品を提案する化成事業を事業の3本柱に据える。

現在、売上げの70%以上を占めるキャリアアールはラインアップを充実し、国内シェアの約40%を確保している。また業界内でのキャリアアールの標準化に大きく貢献しており、業界のパイオニア的存在だ。

強み 提案力・技術力を武器に グローバル展開狙う

大手企業の細かなニーズに対応することで培った企画・提案力や設計・技術力が同社の強み。創業以来高めてきた独自の射出成形や金型製造の技術と量産・自動化技術を生かし、フランジ変形のないJEITA（電子情報技術産業協会）標準製品の射出成形キャリアアールを提供。自動実装用包装材にかかわるさまざまな要望にも迅速な対応ができる。

キャリアアールに付随し一部生産するエンボスキャリアアールは、プレス成形と圧空成形の組み合わせによりポケット内部の精度を向上。こうした取り組みにより他社の追随を許さない高度な技術で、高品質化を実現している。またグローバル展開にも余念がなく、中国やマレーシア、台湾、フィリピンに製造拠点を有し、今後の事業拡大を見据えている。

意識統一 苦境を乗り越え 一つになった意識が強み

平成20年のリーマンショック後に受注が激



キャリアアール用シートで拡販狙う



耐圧強度を誇るプラスチック製容器

今後の展望 導電性シートで さらなる成長を図る

減し、窮地に立たされた同社。村田太成社長は従業員一人ひとりと面談し「従業員を解雇することは絶対しない。耐えきろう」と、思いを共有した。国の中小企業支援制度を活用する一方で、役員報酬の削減や副業を認めるなど社としても粘り強く耐えた結果、一人も従業員を退職させず苦境を乗り越えたという。「この経験が従業員の心を一つにした」と続ける。

新たな商材として力を入れるのがキャリアアール用のプラスチックシートである。静電気を嫌う半導体やイメージセンサー向けの導電性シートで、事業の中でも次の大きな成長株として位置づけている。九州工場では、月産出力が約80tの生産ラインを1系列配置して生産を開始。平成30年度の下期には月産出力約230tの2系列目を追加した。1系列目と合わせて月産出力300t以上を確保し、さらなる成長を図る。同社の独自技術により混合されたカーボンの脱落がなく、従来製品と比較しても大手電器メーカーなどから高い評価を得ているという。

当社の歴史



昭和43年の創業以来、「お客様に満足していただける製品＝価値」をスローガンにまい進してきました。主力製品のキャリアアールの開発においては、紙からプラスチック化の推進、また各種リール重量についても従来品より50%の軽量化を実現。ものづくりと地球環境との調和を図っています。

代表取締役社長 村田 太成さん

<http://www.gold-ind.co.jp/>

主な事業内容

キャリアアールを中心としたプラスチック製品の企画提案、量産供給

主な取引先(納入先)

大手電器メーカー、半導体メーカーなど

- 住 所 〒581-0851 八尾市 上尾町4-11-15
- TEL 072-929-4158
- FAX 072-929-4160
- 創 業 昭和43年5月
- 設 立 昭和59年6月
- 資本金 9,000万円
- 従業員 136名